

2023年2月13日

各 位

会社名 THK 株式会社
代表者名 代表取締役社長 寺町 彰博
(コード:6481 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 財務経理統括部長 中根 建治
(TEL 03-5730-3911)

減損損失等の計上及び通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2022年12月期において減損損失等を計上いたしました。その結果、2022年2月9日に公表した2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想値及び2022年8月9日に公表した2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の個別業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失等の計上

2022年12月期の連結業績では、輸送機器事業を営む当社の連結子会社において、顧客である自動車メーカーにおける半導体などの部品調達不足や、中国の一部地域におけるロックダウンの影響による減産によって売上収益が減少しました。加えて、鋼材価格やエネルギー価格の上昇等による収益の低下により、保有する固定資産について減損の兆候が認められたことから、国際財務報告基準(IFRS)に基づく減損テストを実施した結果、4,021百万円を固定資産の減損損失として、その他の費用に計上しました。

また、海外の輸送機器事業におけるのれんについては、国際財務報告基準(IFRS)に基づき毎年減損テストを実施しております。2022年12月期においては、世界的な物価の高騰が続く中、各国の金融引き締め政策等による急激な金利の上昇を受けて割引率が上昇した結果、9,620百万円をのれん及び無形資産の減損損失として、その他の費用に計上しました。

その為、2022年12月期の個別業績では、上記の減損損失の計上等による財政状態の悪化に伴い、関係会社株式評価損20,244百万円を特別損失に計上しました。

なお、関係会社株式評価損は、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

2. 2022年12月期 通期業績予想値と実績値との差異(2022年1月1日～2022年12月31日)

(1)連結業績

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A)	百万円 365,000	百万円 43,000	百万円 43,200	百万円 30,800	円 銭 251.29
実績(B)	393,687	34,460	35,596	21,198	172.67
増減額(B-A)	28,687	△8,539	△7,603	△9,601	—
増減率(%)	7.9	△19.9	△17.6	△31.2	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	318,188	30,268	29,984	23,007	181.97

(2)個別業績

	売上収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 188,000	百万円 20,000	百万円 29,600	百万円 23,300	円 銭 190.07
実績(B)	197,624	25,722	35,105	6,094	49.64
増減額(B-A)	9,624	5,722	5,505	△17,205	—
増減率(%)	5.1	28.6	18.6	△73.8	—
(ご参考)前期実績 (2021年12月期)	167,583	16,718	21,914	18,348	145.12

3. 差異の理由

連結業績については、営業利益以下の各段階利益において上記1に記載の通り、固定資産の減損損失等を計上したことなどから、前回発表予想を下回る結果となりました。

個別業績については、当期純利益において上記1に記載の通り、関係会社株式評価損を計上したことから、前回発表予想を下回る結果となりました。

以上